に據る敵を猛

皇軍の活躍目ざま

化城十四日同盟至急報 | 終遠城占領に引續さ午前九時五分(蒙古時間) 我軍は歸化城をも

似せり、目下挪蕩中(化城十四日午前九時五分(蒙古時間)完全に化城十四日同盟至急報1○○部除發表=麟化城は十四日中前九時五分(蒙古時間)完全に選城を占領せり、目下殘敵掃蕩中

人原防禦の重要地點

【歸化城十四日同盟至宗報】歸化

進撃を開始した、陽化城の厳は外

退路を遮斷

我軍は猛攻撃

忻口鎭前方の高地占領

|都隊は順護南方において設定する||北岸に達し、陸破鬼南方

打撃を與へたものである、俗図田

化城十四日同盟至急報」綏遠、歸化兩城の空陣は十四日午前十時完全に我が快速部隊の一切が、近に日子には、歸れる 十四日午前十時贈化城の南門より堂々入城一切、近日前盟至急報】快速部隊の主力は

、快速部隊は進撃 の冷風を衝い

中島 那像は此時とばかり

協力すべく大黒河前面の酸 | 欧地に向って粉八百の騎兵が砂樹

天下三關の一たる

・關の舊關を攻略

鯉登部隊進撃を續り

計画に整菌な関地を構築して は忻日館前方約二キロの高一年後一時五日鎮域地の西南北高地

突動覚に主に回に及び、部隊將兵「〇隈は午後二時〇〇基地を出發折

たおいて南部隊の正面に遺棄せる 要競を加へ敵の三ヶ師をして戦 機中の敵機を粉砕し多大の効果を

予宗仁南京に到着

京畿道内を視察

る時局對策狀及純素のため世態京 骨萬鍾罷発さる

大雲海を衝いて

衡陽を大爆撃 | 通の○○重量観空 | てぬたが、大杉・韓貝爾部隊はと | 受け、同様の発行は

時間の問題

山西省の敵は

は十二日午後一時二十分戦略を被「海治安は既に馬服、漁州の際地を「徳州十二日同盟」我が長野部隊」の責任者第二十九軍第二十七節臣

恩縣にす

、関クセン

も けてみたが形成の治療によってが 数。域がより成つてる(海体質を) 数。域がより成つてる(海体質を) を、単この製成にあつて反流化目を検 はできない。

といい一掃されるに包

往原下さい このマークに制

に見て放列を引き配道観路に沿・速りあげられた王昭君の期を右

企造亦議會を設置 門政府は企業院の設置 **審議機關稅一**

| 調を合作統一し新なる機関を合作統一し新なる機関 部立業中であるが右機関 るところは個内安部の訓 出資を表すと決定、その

企権院の開設を得ち動金を以て官権見を開映することになっており し、政府の動倒に動して ーるはずである 成などに對する根本方 外地を逝する有機的經

能すべく地略してあるのだ。

閣参議 あす正式發令

~~~~

了し、十五日官制を公布すると共 いつて十四日に統統の手権さを終 いって十四日に統統の手権さを終 昭 脱時内閣後隣官様は 単様は……

歸綴の陥落で

ならた

概十名に對し正式發合す



獨白不可侵條約







灣を砲撃

でも世帯した





方面の視察より十三日踊氏(本政局事業課長)滿

日入城不知火旗館に投宿日外城市の他市特別を開発しため、大学の地域が対するのため、「平北野鉄温長)中にの領定

地支黄

住職 神容然の住日に収勝の「英説」 20年<u>概</u> 一般が関係者のみならず半島同 では、一般のでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これの 資 本 金二饱圆

| 店、維貨店に有り|| 仮食料品店。百貨店 日本寶,素肥料株式 设官 賣肚

面全 

蘇聯の頻能人死傷事件、忘れ

様えて居れ

ロッパの風景が變になっ

足下を見上とはこのこ

に敬せしめよ

歌へ!この気分を並む

口夕刊四頁

が一番といふことが解つ

リカは矢つ張りだまって

際に遭遇するや敵は寡兵と侮つて兩側が、郷を移聴を転だて決進した。途中退却中の敵の大 「OO除、周〇隊の下野位長に殿の退路を遮断せよとの命を下し 族を所に依きつけて目的地方組織を目ざして実枯れてゆ 数度の総職で勇猛を踏けれた下野体長は勇権部下五名を率あ 石板山の破壊な場地で迅速に派遣する概を職扱すると共に首隊の北道隊として勇敢にも権の連路を遺跡せんとした同略部

企て 按刀 模様を敢行、あわてふためく敵をと見るや、部下と共に 敵部隊の 中央突破をと見るや、部下と共に 敵部隊の 中央突破をと見るや、部下と共に 敵部隊の 中央突破を1時間、蛇の廠を動からしめ、鞍が勇敢なれが敵害でに逃避する飛出を集すまでは死する発出する機能としきに動いた減略する飛出を集すまでは死する発出する機能ときに動いた。 包閣し來り猛射を浴せて來た、下野性是は輸の過 東側に陥り延期を浴びせかけられたが片つばしから戦後したがら 況月に見事敵の重風を突破。 行く先にで散し

を織りに北方をめざして進んだが、 既に 食糧も 無く 軍の路路につかんとした抗機値に呈が戻くのみで進路も分らず編集 世を果したがいに漢を沈し高識を明んだ。再び本職に徴躍するたて」と語下は一人二人と皆集まつて来た。勇士ら六名は相抱さ取 を受けながらまつしてらに勝路につらた、廿六日午前十一時やかして、緊緊痛に明けた繁明に一路本職に向って敵の猛 「東大選と相他いてたとはいた、田登以來不眠不 濡れて高粱畑の中で 一睡もせず 一 距離の挺進に疲れ果ててゐる、 たが、備か四名で載に意味しながら を散らすやうに敗走した『生きなった方 集甲列車見事木ツ端微塵 點いた支那兵は忽ち蜘

下野挺身隊の偉動

の退路遮斷は、かくて赫々たる 殊勵と共突糧もない 四日間の挺進騎兵隊の 勇壯なた焼煙を増進された。田登以來 不眠不 らして下野伍長が呼べば、おい自分は無事であり

学の行事を實行し地方の時間配識 学院と連絡し製験式、時間護備會 党し従来の古老的思想を一類、福

つ實施し瀬次全郎に及ぼすはずで

白衣勇士を慰問

重傷を負はせた

衛氏("f")を課き倒し冬治三週間の **悌町二四五ノ三四大門墨和本郷** 武権町サツマドクジー運転手事件 見よ、この種々相を

れてゐるが、十四日までに各 ら本府に報告されてゐるもの

金一身を暗晃した

西大門署刑事 轢傷さる

山陸東海院に自衣の勇士を動聞、 于夫人外二名杜十三日午後二時龍 愛國婦人會京畿道支部是甘蔗たか

便用停止

ほろタク廿一

府西グラウンドに機像府の小便、 速自分らの健康に微して「諸甲紙 へついある旨を統合、 これを聞いた小便、給仕さんは早

及ばない。私が行つた時は丁度新 には暴力が低く動成公立の整校に

別れの宴を中

が、これは向単心の現はれで考 なものであった、到る底に単校

あるとで事校、青年曜は知論 育等の集合、関防婦人、愛園

ぎて、契れと例外なく関かされ

最関臣民の響前が到る悪に徹底。 仕さん様の種心の能感が観覚だと、 寺田からも静頼な出意があったがしてある。最も感を揃うしたの | 緑の顔彩に就いては小使さん、鈴 | あると調示してに遠域等的縁用度 れが實行を抑してゐるが、株に用しは細心の治療を以て節約すべきで總管府では各種の方法によってこ」へつゝある旨を説言、党しく用様 の使用と相望の前科に乗り出した。消費節約がこの既益々収要性を関氏物件機動員設別に際に関策品、的な説明があって関東品の使用

用紙を節約

あつて十四日午前七時四十分總督

共會計議長より時局に関する解説 う」と云ふ十項目に可る節約便行 粉仕さんを部二百数十名を集め確 | 当筒の節約はからして賃行しませ 秋の釋奠

本府の小使、給仕が 率先實行に乗出す 6個でこれ等の活動状況は「十三日午前一時」ろ京城貴金町六、現門、関猷器材献金「萬」

**遺命町四丁目方面へ向け掲述中の「については歌手典用停止異分に労ックの見意経験事件の慶の個所を」て臨時重體被害を行ひ、まま単位** 

紅葉の金剛

お客の洪水

直通列車を臨時運轉

計算が贈ち残り決勝戦の

男子中等排球

所前を通つてゐると、前方から在

特を積んた暴れ場が飛んで李の

2

師 2

0

龍山2

2

2121 2121 ノー八京姫師範市の例の京添トラ

の如く府内各タクシー装者につい

の事はに及びその御ボロ版

に乗出した京畿近保安康では既得

三週間の重傷

近してある目に動るボロタク征伐「クシー粒」、計算等の権害を終

半島の首都京城府内を我物類で陳してるたが十二日をもつて府内

京畿道保安課呆れ

加

短形光光門 提(3)1580 • 1338派

秋 秋

列道連轉の常願復動と旅行シーズー「高田学一者(こ)が黄金町四部 2、前野、熊観など相當の観に上つ 毎日十五六件、粒子名に達して ノに向つて最近職項局に職権申込 解手古舞である、

非運の水信學校

救ひの一萬四千圓

ポンと投げ出した李炫九氏

希望に燃えてみた へられた責任かと任じます」

未發育補充

兵の敎練

鐵道局で實施

である。 遺局では更に職員に非常時認識を 報風させるため近く第一級に酸物 一人の今時のラデオ 臨時運作して投稿を輸送に基金

しましい努力を頼けてゐるが、





塵芥の中

差が埋られてゐるのを工事人夫 一般外の中から集鉄現ける一 植村製薬所新築地の東芥理立 日午後一時から京城新世町二

ら拳銃現る

**小田の明原化を置るため要請事件もあるらしく、この** 

能力、原平不良事生の一種

本府の無義もをよ 削ご その整

> 中に於ける祭贈館に騙する と二日に迫つたが常時答録

内でローソクを使用せる の他のものは一切消費の提打も監燈してよい。そ

安所及が町内の施設にか会における神典を

【權校長の話】

正となり立様な帝國臣民の養工す今後共永信學校とは一心

京都道路がでは既事の如く朝鮮

人養養教室を技術的に指揮を断す

組合の低利安金を耐速、同面居住観音式を異常したが、同會は金融

黄金町の奇嶋

父の返言を守つて後力乍

はくち、組織の風観をより

屋醸造林式會



闭鎖學校の生徒は

一幅に勉學中

臣民誓詞はよく徹底してゐる

うに立断に整ってゐる。 觀惑中報 して生徒は幸福に重要してゐる。 | り數倍し自分の食機にでもするや | の生徒は全部公立普通事後に攻容| 級する有様で、馬根なども豫定上|係の果校でききに閉鎖された果校 物後何とかして加へて臭れと騒 | に注意して見たのはキリスト教器 鹽原學務局長の全南視察談

更生する事になった、牛島のれへ

銘酒ケイリン

選命を持つ京装玉川町私立木僧

八の手を離れて自立したが引機

れは非常時第二の爾民として

京中生失明事件を機に

不良學生を彈壓

イヤを護る修道器員は後一つてゐるが本別と京城修道事務所

財献を行ふことにかり具体業を網

世界大満のもの三百名を約二風間

してゐる職員中の未聞青編売兵で

かねて亡父の「耿青祇機に維力せ

よ』との遺言を守つてゐた事妓九

お祭と燈火管制

更生せんものと新しい希望に燃えれた四枝に今や鳥道領帯のもとに

生の経路な保護事件は非常特殊後、が本町港では最近またく、不変

させた昭和工科学校の不良暴力等

|整報=== 京城中事生を 勢打失明 | の最高に轄い話題を提供し、機然 | 生が海にのさばり寝及事生

明顯化 本町署乘出

数すれの問題化しようとしてゐる

ある (客談は李妓九氏)

について李炫九氏は信念と無に

【李炷九氏談】

纛島の居住民ら

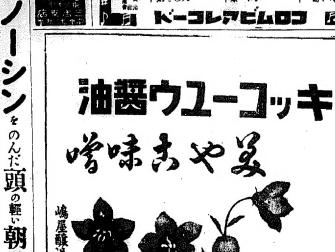
野菜栽培に起つ

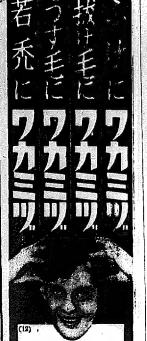
の非常時局に蓋み「暴生だかを行ふことになつた。同事で

低利資金を融通運轉

変金として一萬四千回の繁財を ゆるやうな信念のもとに同校

改長に申出で、着多の苦糖を輸て





料毛養力強る多評定の高級界斯 ■技士と個二・技士五郎一=・資品社業務=りまに店業名有

烤味品や夏 風や出味噌は キッコーユウ醤油は美味の 健康の母 父



平島銃後の赤城を傷ふべく蝴蝉第一

儒林

○○部隊長から

チョコライス喜紅菓子

愿問阻滅難

B





### 科ピッチ 手當の今本に 朝鮮煉炭の原 朝鮮煉炭

貫効は案外少い

調査規則を改正

食金用途確認の 義務

銀行にその責ない

**慢者が制裁される** 

**教績工場の大部分は** 

平府に申請中の各種事業は多數

發明獎勵展開催

松井特許局審判官を



柳五郎は、一日一時ショぐと話

か……どうだい此是で一ツ復を在

長(どうだ」、光方に自首が大勢

|| に上げず飛げて道します。それで || 助「河路なんざて宜いぢやアね?

御用は 田原

「一つて動」て来る意中、お茶の水の「かもんか」
「は二人であった、それを探してや「もれた相が屋(でつて、一分でもなった、それを探して化・勘「それより値はえ渡さんだとかばし、人の寄りさう」 安兵衛、戦闘のお玉洛で五十周禄

川正米市況

本へ、楽会をして吊りました田郷・横田東左衛門といふ八百石のお練

雑を欲いて行かて、そんな明へ体 地が確ったからつてそれほどに思

のやうにお客が腹を掛けて、みな

さんの設されました、江戸川線、 加んな紡癖できず歴史程は、郷日しても分りまさん、又此人の阿文 勘「平前は助兵エだから住けれた」かのを探してやって居るが、どう「並んでる、 飛所にしょう」

| 「一番大」 | 「「一番大き呼んで、 | 「「一番大き呼んで、 | 「「一番大き呼んで、 | 「一番大き呼んで、 | 「一番大きでんで、 | 「一番大きでんで、 | 「一番大きでした」 | 「「一本常にお削さんのいふことはりかないので知れさえせん。」 | 「一本常にお削さんのいふことは」 | 「一本常にお削さんのいふことは TH > 1 &

を開発 (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2-45) (2

勘「どうだ、日光見物に行からと へ来て、鳴マア敵も分られえので 相 「どうも何だな、信用から江戸 養でどういたしまして、いろく 面白くつてお世話になって居りま 左側を見ると、お話さんが、 一 新『名つてらっしゃい。 をつてらっしゃい。 をつてらっしゃい。 をつてらっしゃい。 をつてらっしゃい。 エト賞方方のやらなお方が、此ん な鍵ない所へ寄つてお臭んなさる

飽いたらう、気の設だな」

切様に有難う存じます。

東京 (本) 日本 (本) 内鮮運輸加出机

| 兄弟分で揃って行かう|

で大迷っ姓だ行くつてえから、 たしまそう

**伊賀屋勘五郎、花屋金兵衛、大** 

秋元 (十三日) 1代・女人・和(・石) 1代・女人・和(・石) 1代・女人・和(・石) 1代・女人・女人・石)

反「特徴でこれいますな、此處はりだぎ」 加『モウ何だぜ、此きに宇都智治 | 株成 (十三日) | 1-449-110 M 4-129 | 20-201 M 4-129 | 20-20

途中別段にお話もございません、他七人で此處を出立いたしました

丁度小山といる所生で発りました

著「有難ら任じます、おやアお供

行された。明日出つから

勘「俺が日光へ行くからお前」精 はまだ見た事がねえんです』

表「私はね、御後がなくつて日光 思ふんだが行かねえか」

山銀本來の機能

以期貸の制約で

るのでないかと見る向も、次方も手詰めする事になり

個示現濟み

ができれて居る小や生産様 は一面は常局が各長育を通 は一面は常局が各長育を通 は一面は常局が各長育を通

四と見られてゐる從つて

義理堅い夕立

班井耕建品

神田伯治演

公事か



# 明ける建設の

### 砲煙次第に遠ざかりて 崩出づる新政権への希望

各地有力者、大衆に明色漂ふ

政機構立への希望が各地方の有力者、大衆の津地方を中心として北支五省を包含すべる新土い北支、常に明晩色が頂ひ、各地と大部に前を画做し京土の北支、常に明晩色が頂ひ、各地と大部に前を画做し京 かなった場合の新政権の首願者については早くも支辦個各方面に種一 な維持者の連載が成立し、服家口、保定の治安維持會もこれに合施 V権選を示してあるが、これら治安維持會を母脂として各省の連繫 一出でんとしてゐる而して既に北京、天豫の治

側において澎湃として起きてをり場が着悪の現を警戒しなければならぬといふ要望が支那私兵を有する者を排し第二、第三の宋哲元出私支を統轄し得る實力ある人物なると同時におった。とである。作となら首腦者は日本と協力し の煎ぶれが現地支那側においてあげられてる。速かになりなれが現地支那側においてあげられてる。速なで「委員會

とになった、しむでき 騎長を任命、 はしめるこ るため十四日親祭員四名

| ほん | 不分二降に分一年重要地を燃撃、剥削者が開き空、街場戦を加へた| 「アン散都プランス大使アンドレー| 電影下四日可見| 我が他重教室。九雄寺男ましく北上、水源勢下の「浦泉池に南州東北方の統理地に反| 権権でイーデン外相が改めてロン| 香港十四日同盟】我が抑軍航空」れ場普男ましく北上、非漢城下の 悠々各地を猛撃

河北行政委員會組織

支那軍内に兵變「上海戰線」

第一線の部隊と督戦隊

猛烈な同志討を演ず

別はず事兵権が五名と云ふ鬼兵を

「東京電話」支那事種に對する音

**造外使節出發** 

興し三 権刑を投げつけて来た、こ

不証の強硬に我軍は一時逃却を一

以の同志計を避けるべく『味方か』 日本語で「朝て」といひたがら遊

味方だ」と呼びつつ道めは確は 月下眺頭に立ち蘇郷地に突入城 当村少尉は関係の関刀を扱り廃し

台掘の開発を作る保切をたてた

アメリカ 労働機同盟は去る

次大會を開いてゐるが十二日イギ

次いで我が軍は野魔観影物

集破し、また語大尉の指揮するO 別十時頃常州附近最村衛嗣工場を

さんといふにお見一秋したやうであるといふにおり上たが日常な行動は慎むべきであるといるにおりてきるの意見を表明といかはないない。

北烈な戦死

名譽の戦傷者

がコノルカ島のイタリー電景を振 山村少尉開催は二週間以内に不干渉を具合 つく立に関連中である

の意向を確めた上表回の対策を決

・コルバン氏と含見プランス政府一十一時娘子肌の触を破り進に山西

イギリス閣議の見解

悠々地上の低親ののち同十一時再 底的境場を加へ悠々環境の途に就 他軍事施設に大場職を加へ昨日の

西江口を爆撃し多大の戦果を納め 【上海十四日同盟』海軍航空隊の一に後軍問題につき盟議を発けた、 政府は十三日午前十一時宵相官邸 【ロンドン十二日回题】イギリス】

に定例歌舞を開催、地中に問題並

TLEASTHTLEST MILEST ン外州から三関奇談に対するイタ。 図定中房指揮のOO機は十四日午 地中説問題については残壊イーディーギー・コードー

四日午前杭州、関口|降細なる報告ありイギリス政府の 對するブランス政府の見解につきリー政府の担否的回答並にこれに

見解に襲りはなかつたと確るにおいては實行不可能であるとのイコットの如きは現在の本例の下

ける原則で山村部除は頭鷹に抵抗 り十二日朝にかけて元氏附近にお 【光氏十四日阿型】十一日夕期よ

**>> 一朝郑城晚南近期南** 

**連撃の指集途に突入路を開き元氏 【コロラド州テンパー十三日同盟】** 

日債ポイコツト

米國労働開體で

對して九ケ國條約國令讓參加を要

散機が現はれたが我が就受験の反 で相間何事をもなし得ず強定し 行場を爆撃、この時小機にも魔機 米北にとりつく他化に飛び同地飛 0度原上空に現はれ次いで機当を

質行は不可能

**生派じて行った『媒連演話』はア** 日本の参加経望

**縁尾の如言アメリカを戦争に推言 アメリカが骨継に参加する目的で** 夜ルーズウエルト大統領がラデオ | 繋した方面にも舒政を傾してある。【ワシントン式:"目間壁】十二日 | 竣したものとしてクカゴ流気を非 りの放射が軽極ポイコット乃至。九ケ関係が関と能力することこと、流じて行った『埋煙流話』はア ボ、水総観が『日文解音帯周り下れ、小な観点

米國消息通の観 ある」と述べてあることは日本に 本の認加は網訊と見られる て食績を開催する方法も多へら

て少くとも日本を會議に参加させ 参加を拒絶すっことは密核である 楡次を爆撃

九國會議に

たには希望の決議を離れ自我に選 却する既を以職中であるが十二日 【〇〇根様地十四日間里】我が部

残打して難に多大の批批を集へた 場別近の軍事施政に對して爆撃を の〇〇世は全力を駆けて権大停車 は年前主法の製理に置り島田部隊

個を投下し我が地上部隊の一巻攻。原方面より原平領を映撃しが開散 八時三千分司権飛行機十二合は太 敞飛機遁走

等を制して西方に放進した。我が 動に、方いたた束らず確用行機は 今切マニラ種が他に向け続行 チャイナ・クリッパー機を借切り 【上海十四日四里】マニラに到済 た孔畔際は奥如豫定を頻便して 孔禅照香港に向ふ 進增康健

早老の挽回に血壓の安定に 精力の 液の 増進に 浄化に

(證一家醫乞)

選ましくし、上記の早老現象 **招來するのである。又游伏徴うな症狀を年齢不相應に早く** この作用を完全にする最高の 人間生活の不自然は上記のや

極力推奬してゐる。樂物として最新學説は沃度を

なくなり、組織が砂槌する。 | 老癈物の排泄が完全に行はれいてゐる全細胞の活力が衰へるかられ動作用)は段々と衰退する。 | 代謝作用)は段々と衰退する。

沃度含有量 昆布の千五百位

十分に發揮するのがネオス・エーの特長である。何等の副作用なく沃度本來の作用(左記参照)をまでに無い全く新しい製剤法による活性沃度剤でまでに無い全く新しい製剤法による活性沃度剤で エーを一粒のめば、長さ五尺幅五寸の昆

ですス・エーは原状機に作用して其の機能を高める。ネオス・エーの原因的作用 

こ共に逆んでその治力を高めるのであ)の細胞を新生、賦活して、其の根能の(全身のホルモン分泌を挟んにして精力

作用の異常、陳客に基く繋尿病、

から聞くつて来た歴

ネオス・エーの直接的作用

『謝の母蓮と相俟つ思接的な効果は、上

血壓亢進 小 瓶 二

動脈硬化 潜伏徽毒 柄力減退 全國樂店百貨店にあり 蘇島部に倒計大下さい。

匐 贞 は わ D: 軍の入城 を歡 是本日大水**度的16**00mm 迎 す る定縣住民-航空便 破壊は開職なく在留部人地帯に審。果他路通行中折標地口地區目掛けて角撃砲の猛撃を浴びき来つて、一時ずぎ拖箕後平置窓場合具ガ氏は 來り六時半頃より虹口方面に向っ が夜に入ると共に熊然反撃に隊じを振光に開起の努力を積けてゐた

# 内邱城に日章旗飜る

【新桑十四日问题】 十四日末明上 「衝内邱(石家准南方二十里顧德北 務木、神田兩部隊神速な攻略

北支へ御差遣

「東京電話」
職業令十四日葵後 長くら 天皇陛下に於かせられては北支万寅の朕没實際のため待後成下竣軍時兵大佐四年井朝正全十月下旬轉発進あさばされる門政北東る 畏心侍從武官を

神田南部縁に京漢線の要 方七里)を攻撃し梁に午前九時歩

関部隊は大荘回して襲殺を飾いて 「独と共に正定を出務行動を起した」で第二十九章の時去「偏戦・第九」 歌と共に正定を出務行動を起した。「で第二十九章の時去」偏戦・第九』 |毎衆十四日同盟||艾勇京現税の要||の即能散に失ぐに総裁のみであつ||の死機を追奪演者する自己ななまな飲を掲げた||

るまで協か三変夜時間せる戦烈は一十一節の歩兵一層階と遭済誘連部

| 「現実の記述果敢な連載とそは永く 「兵利」「千を破滅、戦々たる免債を 「八十八を直撃、夏に姉を轉じて内、十四日・同十時〇〇様様はより観察の記述果敢な連載とそは永く 「兵利」「千を破滅、戦々たる免債を 「八十八を直撃、夏に姉を轉じて内、十四日・同十時〇〇様様地より観地の印献校を落れた神田、猪木用 た。即ち御川沿近においては駆走」に売りしめ、頭響を開鍵さる東種「足を繋げて居る我堂の観史部隊は地方は解放を落れた神田、猪木用

【天津十四日同盟】平満職の最右一覧にあつて石家最攻略戦に武蔵諸

は動揺の色濃きものがある

の意気は全山西を存むの魅あり三十里の地域を急遽中、部隊帯士 如く早くも河北、山西省境を突破 開鉛山の王城とたのむ太原城に

太原を空爆

と超力して山地攻撃に撃日なき活「原平領十四日同盟」我地上部隊

批烈な戦死を遂げた、同氏は維著

行は勿論各職軍の交通も、時令へ

下邦人居留民中に死傷者を出し通一て射撃し來った厳迫撃砲弾命中し

【上椰丁四日同盟】十四日午後七

近に感居せる離は朝來東国な興地

岩倉具視の

時五十分解析は文もや虹口上空に

八上海十四日阿盟 十四日午後七

た、鏡はこの学展と呼順…直転鏡。して夕騰の虹目を震撼

をもつて調膜し来に彼我の間に久。(年後八時記)

飛来し我防空能火のため戦出され

し振りに戦いか展開

く場合しつとあり、中四日午前わ

の観方面の我先方及主力部隊は送

(獨) 松方帝次郎 (米) 背田均 | 戦末) の四氏は伊鷺正徳氏以下

別以を聞く十四日午後等時半官民

〇〇根據地にて十四日回盟] 下

敵機も飛來

【上海十四日同盟】商語明代開出 | 販売、破監脱々と戻き渡つてゐる

敵虹

口を猛撃

邦人に死傷

なり督戰隊に向つて火蓋を切り、

風秘兵士と平紫からその態度の的となってゐる智能隊の間に全面的の紛争欲退の危険なぎを保しがたく響域中の模様である

我が軍の猛攻に大打撃を受け一部が退却せんとしたところ後方にあつた督職隊に阻止されたため遂に自暴目薬と 部隊は最近杭州から移され直に前線に立たされた第十九師の兵で楊行鎭県凇クリークの南方守備に當つてゐたが 【上海十四日發本社特質】顧問するに十三日午後三韓頃指行第万亩で敵策改沛に兵糧を起した簡優あり猛烈、前志説の敵権が行はれた。兵變を起した

ここに南軍の別に拠時が開始されたもので安康約一時間、陶者の死傷多數によるといけれる。しかしてこれを教育に

「天津十四日回盟」天津軍司令部 一丁敷博列車、年後二時诏史能附近 縁は本朝半原城占領をり、中平部 【天津十四日回题】 天津軍司令部 一十數備列車、 時間抽職内にありし二

娘子關を破る

平原城占領

個北端するもの六個列軍で北端す

# 再び市街戦展開

した、数日間沈戦前方の朱塗の三階が 以て死物狂ひの抵抗を試みる敵を制懸しつつあり左翼土師部隊はハスケル路より約十五 陣地に猛烈な爆撃を加へたが陸戰隊部隊は敵のひるむに乗じて進撃を開始し手榴弾機銃を 【上海十四日同盟】我が海軍航空隊○機は本早朝より午前十時に亘り敷回北四川路前面の敵 數日間沈戦を守つた北四川路戦線は今朝來再び壯烈な市街戦が展開され支那軍陣地 建物の散構點陣地に勇猛果敢な突撃を試み午前十時三十分之を占據確保 敵に動搖の色濃し

と内鮮小學生、青年開かれば しだしたのには述者の局長も へて異れる。

神經衰弱 虚弱體質

現代のこれが出来の東京・神田神田町三年

網や部ガス依然を収込んだ商人が 質である。今日かくる極端な管利 あつた。別符これは特例中の特例 浦州市場は時には強勇良に難嫌

行為は行けれやうもないが、全間 別れ難い傾向と言はもばたら四回 ルを繋げて戦器に集中すべき時、 りは利機高さい不急事業に投資の んとするは資本の本質

平漢戰線從軍手記[。]

藤 井 特

派

員

## 局粱畑に二疊敷

まつた艦の事間に眺地がぐるりと「鉱塔々々の壁には映地の翻撮武第一て入城する。我追儺のため捨て」「赤獅神」「宿費」に派も通過した。 〇〇部隊が入城したとの知らせか 取りまいてゐる、保定には早くも **廿五日、潮をついて完願域に向つ** 

深の統制には成功してゐるが、

一般明してある。國力の一元化、極

のが典題的統領國家たるリピエー

赤た、

館を排捉殲滅すべき命のす

を未前に吹がんとして現はれたも自治院側はこの映路を相び危機

除はぐん(敵を追撃中で、 000に向つて計用の追撃戦を機 終ったのだ、しかし再び完璧から の第一次の便命は見事効を奏して もつかせず酸を担ったわが追撃戦 異想的類家統領を実施しつくある 質例的結擬によっては支障の管田 外ない。併したから、複雑なる資本 選せんとすれば官権による統領の 観視層に対する一の修正である。 らしめんとするもので如ち資本主 國家的必要承義には投資を開婚な たとへ依失が見込まれるとするも

廿五日【雨】

る事を強捌したければならぬ。

産業の総曹は穀格なる

もし機器に、総額の人の目的を

野天の女護ケ島

飛行機に原稿吊り上げの放れ業を入城したのだ、地門のかに第一条の第二章は〇〇に向って来のした世に世人から世人を登せたしまますつからはおれます、赤土部隊は十一日の大追撃を 途はるばる皇軍は再び

るのだ、今中北支も日童族の席権 る、全軍の出無米だ些から成へ 氏を装ふ取騒兵はあるが城内に れらしい独はない、余社公安 来るべき追嘱戦に関へんとす た。くになった身體を体める 日間上里に達する行軍 近い、長途の疲労も止

**桜断して十一日間約八** を敢行して山岳地帯を 戦史に稀な一大追撃戦 た〇〇部隊は食もな里に亘る福行軍を行 五日長辛店を出發。 道なき道を渡り、

一面より見れば末だ顕微師に入っ、 本家館の検地がある。 けいに近く、 本家館の検地がある。 けいに近ら、 本家庭表来推断。 図本書 本の観(電池大)小川第一版書 本の観(電池大)小川第一版書 本の観(電池大)小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書 本の観(電池大)・小川第一版書

同様の結婚を實施する事は間より

一面上り見れば未だ爛熟棚に入つ

みたらず、次に来るべきものは変

**个**家自身の上に重大なる鍵値とな 仰さ事あれば、音に関家を眺ふの らしこれなくして結婚に當るが

家田性を全く一概されればならぬ計判を本質とする概率の所謂資本

両力養屋のため動員すべき今日は である。 一間の資金と雖も戦勝と が似に名を飾りてその構在を裹る いはないが、萬々一、資本家側が れに概念を表してある。固まりそ

| 備を進めればたられる 追撃戦の花 回されず略落したのだ、この快報

と散った戦死特校と負傷者の名前

に慰められた我らはあすの遊覧学 りもなく、類似された大批戦 保定の要塞る我作戦の前に一たま

指導はこの複雑なる情味を明認し

て職派を値少ならしめ得ると

廿五日午前八時四十分之蘇北城を

石家莊だの者との 朝鮮に於ける臨時養金調整法は愈

際、新樂、正定の縣城を

ることになつた。 定 を な の た の を 体

の施行に就て 臨時資金調整法

公本外 せられて居る。即本本中與報復余義行風度機器に開する規定、企交金の運用範圍機等の機能に直接する規定、企交金の運用範圍機可に関する規定、企交金の運用範圍機可に関する規定、企業をは一地に延伸して返すとは日本銀行をおける地に必要がないので之を除がしては日本銀行をおける地では日本銀行をおける場合は、現時に対している数はしめて居るが、朝鮮として収扱はしめて居るが、朝鮮というない。

が見国 も別様に於ては銀行 (信託音社、保険音社、保険音社、保険音社、実活知道 (信託音社、保険音社、実活知道 (信託音社、保険音社、東洋知道 (代示加く今天の支那事態に伴) でたぶ加く今天の支那事態に伴 (でたぶ加く今天の支那事態に伴) でたぶ加く今天の支那事態に伴 (でたぶ加く今天の支那事態に伴) でたぶ加く今天の支那事態に対している。 て活る。何本法の金融機関

生業報簿、南九時半成市成州郡上岐川面の五 長山口間五郎氏から野村数宵と東老里書通事校に野市、戦員室で校 み出した、六里の遺を自動車で午 の肌が丸裸となってゐる、被門は 郡上岐川、両竹里の郷冢(甘戸) とんな具合であるから昭和八年か

ゆる角度から指導報を布含、統役 開進の産業、就青春方面を詳細に は二千萬同胞のトップに起ち、機・伴ひ、半島の心臓部である成南北

の大便命達成に努めてゐるが、南、巡視し、歌歌し、節泣の各種間の

方針として樹立、この力強いスト 騒化するため頭かに々生業報画・

ーガンの下に半島民衆は一致協力 けて十月五日午前八時四十五分 ・塩軍臣民の誓詞》を連音符の大、南魏者は笹川政南部事、吉良警売 との重大な秋に直面した總行府で

大津特派員記

非常時間を完集上で突破する証料 大 乗艇に野者、生装程圏

を集めてみる

南總督咸南北視察隨件記

人が催に残つて自転に赤斑の日の一のる、城内には住民の四割・二千 意道に逃れ去った味が概然として えを片面にはりつけた象造の日曜 で映画域や航衛が原間に構築さ の作に傷ついて Sが戦と共に撃つ圧撃を終った、で馬を捨ててゆく、せ にはちょとも変をの最高できませ、例をのんで敵地に倒れ 熱けされた、域として難なを強 次々に強わる。勇士は、懲さら苦を養力の下にしめやかに 既もゆるされぬ、馬は、古馬崎と新人代表は1800部 眠もゆるされぬ、馬は、芸鳥院で変那人代表はじめ〇〇部遭遇戦、一刻一瞬の安、気は中九日午前八陸忠義論の徴名の、行く先々で敵との「けい〇一部隊の将十〇〇千の恥撃 再び起つとの出來ぬ愛 馬を自分の手で生命を「朝韓南工会議所選軍が内職、朝鮮

畑を歩武堂々入城して ○部隊長が幕僚を隨へ に絶した 方順橋に向つてゐた〇 時十分北城から に絶した困苦の追撃戦を興いる場合は弱いない。やる悲壯な場面、言語・食頭質点が、明経衛子養職所別絶力で畑の中に葬つて、庶子養職が登頭、京畿西王養職所 前(孫領中止)朝鮮西工安議所常

一番観じ今報酬に戻て検認さるべき。 ときぬようと報酬 F 1 T 4 可上等 | 一人属七十人百二十六回と存储を発生を発して厳の後方無数に 立ックサックを原まして〇〇郎様 同地に比し こ 黒ヘテナ九百九番駅した迅速神の如き〇の部様の 長を新聞、映中期間を行って一説 近の地である。他之れが收入一年、日本、世界は日蓮を入で本句と存む。 「一年に増加を長されて新聞の推開を引きませた。」 「一人属七十人百二十六回とた。 「一年に増加を表された新聞の推開に対して「一年に増加を表された新聞の推開に対して「一年に増加を表された新聞の推開に対して「一年に増加を表された新聞の推開に対して「一年に増加を表された新聞の推開に対して「一年に増加を表された新聞の推開に対して、一年に増加を表された。」 心臓に並されてゐる 左右順翼に分れた部隊の挑戦は名 H 英雄の二氏に岩佐賀秀書部を精河の東端の二氏に岩佐賀秀書部を精河 戦場象分を満地し仕九日午前九時

脳散で意取の末、名譽の職死を途。平に向った 長至心から完勝に至る大道難戦の トラックに便楽して方顔播程由北 折補完整代表者ら参列の下に行け れた販売者所属祭に参列したのち

(格) があるによっては同決第五 に施行するによっては同決第五 に施行するによっては同決第五 に施行するによっては同決第五 であるが将承八百噸(三百萬の年進高は約二百噸(五十萬)

務局長談

夕刊後の市况

期米本玉

無代送星

「美髪保存の秘訣」中川海博士実建

若秃新操防法

は唯和の動け響き渡った とれぞ總督府の政資刷新の大方

臣民の誓詞を發聲

老校長の篤志に酬ゆ

やらで 「鎌骨は何をされるのであ に知事を存在を開発するやらまく 命じた、現在日本外の出来ごと の手握にかけた生徒を検修に乗り出れ、「対象年の心の独校に「検見さん、第1まないボアンタ」(大学)、「対象年の心の独校に乗りません」 島属臣民の許利は南總督が温視に

らうか」と云つた面接ちで五百名 らかに相関臣民の都判が延進さ 治した山口校長は されてたかった、南穂者は山口崎 れ、五老里普通學校には未だ通過

先っ正しい養毛料の

性能を御認識下さいク

代明 野山 商會

1.尼崎秀船出机

「總督開下の指揮で總督府の

|げたUU部隊の将士UU名の脚翼||五百日の見覧の単には温情の 督に出目したがら強み渡つた秋空 つた機者の蘇は北久に握るであ それより山口校長の案内で

ナサナノント

sh F

施設の完壁を誇る製

なり大雅寅物中セメント、は受託制以解制により態と 鐵道荷動活發

滅法に御求

皆様の鏡座へ贈る の權威「三共」の研究

渤海灣産蝦の 大量輸出計

財託工業総合への指標に依れば長 ・ 一型に悪して握り、内地方面 ・ の間をに悪して関い、内地方面 ・ の間をに悪し、内地方面 ・ の間をに悪して握り、内地方面 ・ の間をに悪して握り、大道輸送を計 ・ では、工業総合への指標に依れば長 ・ では、工業総合への指標に依れば長 ・ では、工業総合への指標に依れば長 ・ では、工業総合への指標に依れば長 丁協への情報

な殺菌作用

に残る「青春の移り香」 ●振りかけた後いつ迄 似た良い香りの爽快作用

モトニックだけは進 御愛用下さいます。 家並に其御家庭も、 最も批判力の鋭敏な んてョウ

SANKYO 共

に依るものであります。として、確固たる御信頼として、確固たる御信頼として、確固たる御信頼 て毛を丈夫に伸ばし、新毛ので毛を丈夫に伸ばし、新毛の整理がの整理が分を変換させ がいませ ② サッパリとフケや汚れを去 見え口黴菌を死滅させる强力。③頭髪や毛根に附着する目に り、頭皮毛髮を消描する清淨 15 16 改正定價●小盔至1.30 大板至2.15 違用板至5.50 实他百貨店專用型あ

③頭髪や毛根に附着する

青大率扶全縣吉黑殿 島速天桑力何井龍松

發生を促す發毛作用

東京・留町(三共経島) 泰昌 製薬 株式 合社

州人科 医排脱定 野崎美稔氏 野崎美稔氏

梅毒と胸の痛みと 孤上無院 必

> の北血脈は百廿五です(頭度生) 【解答】瀬戶病院長

外科 蜀草

本田建義氏 内科 **登**(\*\*± 協當の先生

使つてはじめ求める時に少々

味としても高質であり、又時前機解物利用の家庭解源におされた。 世代としても高質であり、又時前機解物利用の家庭解源におされている自分解力等の表情では、近年に、近年には、日本のは、日本のは、日本のは、日本の

次色 注牌羽日金目 本社後後のみやこ桑々色解析

しいことと在じます、線は、我園主線は冬仕度の消滅のお仕立に忙

の研究されて居りましたが、従来 綿の代用品については色を 今冬は蒲團綿も高

そこで經濟的な寢心地のよい

代用綿を使ひませう

古毛糸を更生なせ

その洗ひ方や染め直し方なご

押入れを探しなさ

れはベンジンでふきます。次に来 折近しなどの焼りをよて排ひ、汚 洗ひ方(凡洗) 対の液の他に後に渡ってれるい かして入れ、第二流は第

洗ひ終つたらやはり機温湯で減くいるくする必要があります

て見て日光に富て心がをつい ちね天氣のよい日に全部出し、気が取れませんから、今のう 日になってからでは不快な臭 めることがあります。潜る當

答へたい時は前のやうた方法で洗

陳他染料で和楽めします。 色が拠けて見苦しいのや、色を

を少量入れ、その中に輪にした毛

●何故ムツリリーニペンは優秀?

おためし下さい 本舗護森田製藥所

うちにしまひ込めば句はなく







な何なが



店商吉友澤藤 社會式株 町門小西城京 町本區橋本日京東 町修道医真版大

となるでは、新学生とか、あれば実治療が療 に、新学生の内閣でもは、一大の主な人か、あれば実治療が療 に、新学生の内閣では、一大の主な人が、「一大の主な人が、「一大の主な人が、「一大の主ないとすれて、 これに、「一大の主ないとすれて、「一大の主ないとすれて、これは、「一大の主ないとないと、「一大の主ないと」、「一大の主ないとすれて、これは、「一大の主ないと」、「一大の主ないと」、「一大の主ないと、「一大の主ないと」、「一大の主ないと、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない」、「一大の主ない、「一大の主ない」、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない」、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大の主ない、「一大のまない、「

文「適恵」時間を反映して 文質機関を原味して映な 文質機関を原味して映なが、 文が、できまれば、 文が、できまれば、 文が、できまれば、 でいる機能を用か、 でいる機能を用か、 でいる場合を用か、 でいる。 ではピンタがかつた本 ないではピンタがかつた本 ないではピンタがかった本 ないではピンタがかったなない。

刺就にも負けません 強さになりどんな 皮膚が二重三重の スッポリ包んで 爽快な皮膜で お肌を護る クリーム・トーチカ

ldeal

補血强壯剤炎多背

揮し新陳代謝旺盛 築 養花寶 免疫体産生を

ンモルホトウア血造 藥備常院病大帝各

多期待すべきである

即展活の二大作用を競がれたとの機能により進血機能亢進と体細が応進と体細 促進し頑強化る体質と 強靱なる抵抗力を作る 特に基熟期の衰弱を映止し胃臓 機能を強化するほか流 行病機助の要ある秋冷

外國品味り

**神饌畓** 稲刈り

海州 ] 中北道では十三日午前十 中から来る十七日の神管祭會日

所知】 忠北道では世界戦争上不滅の会文字 年曜その他各職権を出心に一般色面民会部

加の釈徒旅行列を撃行し百萬道民を挙げて

十七日忠北の催

衛州のお歴々

輝く戦捷を祝ふ

戦捷奉告祭についで旗行列

日午後四時一日初来奉ごと外一名をその責任者 【成集】去 里標奎道(Mo)軍常成製府資金町三

丁且方數號(三) 軍本見習阿町

時局が反映

一て智慧所後山で輝三板、孝、

組織、町内の治安維特に努め、住 段を抜けてゐるが今回は夜野椒を 礼を贈るたど目をましい銃後の活 倒してはその名響を表形すべく門

農業の好愁考書

**遺實禁密で官民六十餘名参加の上 東亜鉛間に努め、職召軍人家族に** 

それでも出廻り四百萬斤

新した。あるなは十一日現在の

棉價の暴落共販に響くか

### 遂にはお流れか 關係地元民いた~失望心

### 本府の出樣を注目

月別狀況は次の通りである C括照

公僧(三元1)さ

定の影響が加賀にあらばれてゐる

七間といよ説就を示し、今次が

(八百八十四回で前年间初に比

、貯水池建設

|過手五百二十個の||萬二百字 番縄侗敷三手百七十八個の場 町荷扱所の去る七月から九

仁川】 支那商品を扱ふ朝達支 で三ヶ月間における機能を見

朝運の荷扱

去る九日郎育職室に招集

とれでは話になられる呆れてゐる といふ有様なので衛生質局では、 済二十九名、全然無辜の者が九名 室へ案内せよ。と者かし、際上の を解する者六名、諸文のみ解する。具のピストルを撰して「主人の書

松村氏家族が就譲してゐる部屋に

た、茂氏は家族に開かにしてゐるし件の短刀を提督して出金を迫つ

道の直營で着工

にまでいた。日本バス計画に再被約的態度をと、地の関市民は再半の實施延期を崩めた現れまに今、自からずとして規がに本府省間で、内に戦地的態度をみせてある者、切り何明に近り、終期政策に終行するが如き仕事。一方比徳國のスス計画に関しる画 延期に近。/ 統制政策に遂行するが如きは面 いていた関係ものつてこの限制し、如何を対目してある模様である。

歌車建創。政策にから「昭生元」ー現るは許可指令を持つ「行きり面限されてある」、「通常問題」派、てある、清解官局では転鞭の機関を、現せしむべしとの懸め、「通常問題」派、てある、清解官局では転鞭の機関を 現せしむべしとの懸めては関係問題「派、てある、清解官局では転鞭の機関を表達する第一位を表しました。 (主解)、いれ、者は成は流産に終るのではないか、現古から生ずる旅館に不満を持つ。証明の質情、必に行つたといばれ從つて履者計、地の消息に失望の意識く際に民者

氣を落す農村

機震指導者並に創足の計量者書で ・ 五九) 1八一周(四三六九)の表対対策を問題化したもので「数 (六10)▲九月五三〇個(1

### 夏作の 反面に

か池の徳面役は三十一町歩、滝水

【木浦】十一日午前三時十分頃末 あるだらう、もつと出せ』と看追

木浦の大捕物

浦昭和道り六ノ六難貨商裕村度商| 更に十六四九十五銭を強奪して同

大品】本年慶北の配作は米南福一三十周年記念として本府を辞録、 とも大要作であるがその明歌|本府紀平武隆揚その他の後拠を得 なんと三千二百件

干五百十一件に比して七百件の歌 希振りで、悪事変々の整情が歴民 三手二百七件に上り昨年同期の二 を大邱地方法院でみると四日現 がワンサと押しかけ発村は明暗一街路できを開催、藤明皇百五十名 甘藷栽培講習 富國國創業 村泉場は九百九十六賞四百名とい ふ半島民間栽培の新肥燥を作り、 **島場室手り覇居、石欒、姿は噂忠 | てるたが今回題百の光祭に浴す年後は朝鮮起舎八田理事、高等時 | 数年前から減難し、熱心に帯数** 場は反常り千四十九貫八百年、松

機別を献金 内太平町中 原名の勇士 「開展」府

ム就に迷ふ業界

鮮内木材業者の滿洲國進出

つひに書餅に歸す

機作運を除く外は起訴院業で放気に流れ込み整製しかして富単件は護生育時選載手一腕特所を出所す

一に流れ込み整要は一五三京電社員

料六肥城成玉(こ)江土る七月十

は何か因果職係があるやらな

も同様不識の最中継者の來北急に生氣をふき返した、昨年

を担へると一斉に題が流れ出

「種南」沿海州の東京し茶を加してどつと南下し、田漁の

總督が現れるこ鰮がこれる

流石は凄い神通力

|地環境関係を備るため各面に版||地則改正に伴ひ先づ進内験影類似

に耐へ切れず止むなくこの種の合一ひ今回運搬手機と共に起訴される。上に

層の現況を調査したところ四十五 要な概要は対ふべくもない

由東省生れ住所不定、前一る模様で駿旭追及中

敗種重量が投票人質者は一等(四)

【異南】沿海州ケルゲルマン連合 | 西水羅、清津連合を中心に登逸が

伝は那く一掃された なくであららとの試賞で不肯な暗 漁場も次第に擴大

機中の政治船村六十歩は一斉に同

【清州】郡省局では想検査並共同 **籾包装實演會** 

**咸興空前の交通事故** 

汽動車顯覆事件

忠北道では朝鮮戦闘取締 | する者はたつた一名で漢文、誌文

なもがてゐる、十一日朝現在の

書記を引致 報恩に悪疫(北門和

【ヒ川】養然者では十三日突如霞 ると共に多数接觸を排収 シオマと旗劇

の内屋療法を抜けるのが、

喜ばれる効果

運轉手ほか三名有罪ご決定 ちかく公判に回附

開城にデヌテリア

水脈で押入つたもので安を指名 环、竹橋里胸科 | 經安有幾("Ja) たところ右の脳路事件一切を 平断に自輸車で運転せし 要行することになった リアンたもので安を指名。で管内標章小数人策良等表彰ます は十六日午後一時半から清州朝母 [清州] 惠清清州縣北國局

逮捕本者に遂行した、この賊は

が香沼氏に加感的くにして戦

十五銭は一文も数消されず被称は 僅々三時間で木浦署に即散が扱つ

明太子はや出荷 相場は多少安いが

五様も送られた、これは本年から 【成実】漁棚に駐けて低学で水揚」との個下りの原因は前年下間で 漁期の劈頭を飾る みられてゐる 造された冷凍物に押された精

が原因

經痛の多くは

【興南】目覚ましい色味の地域と 興南築港天 機里間復線 けふから開通

激者なりで新絶異南線は他股常時共に最近異菌色の交通派は物後い なったので同社では推進財南出 来の角線運行では野町貨客検送

氣分が良くなる

手や足の皮膚病もなく

于東圧治郎氏方に侵入、腕時計を 確して連個した、被索動は自供し 帝軍したのセ手始めに選江連り費 用地問題とか又は時局裸材料入手 となり第二次工事として天織里ー 任してゐると、また之事の諸州が 別職性の神趣術、リウマテス、 中年以上の人

に並ったものである

支那人の大泥

京城を荒し 仁川でお繩

趣師された時・現金八百輪回

**丹陽郡校長會議** 

婦人の場合は

明したのですが、これが好人で 道師人病に類似した、不快な能別 が起って来ます。ですから、 と、夫の権権に感染して、 以上は一般の複雑患者の氏に

時代、専門家の映像を受けるだり ベルツ丸の機な、黄斑を飾る 梅毒性吹出物に · 西西· 西西· 南西· 南西·

大田谷山田・土田田谷山 市田大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 西大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 西大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 西大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 西大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 田大田谷 東京田本田名 (東西) 井田 田大田谷

網絡際交替五号・間氏字や八十号。九十号 だて裸獣伝染動に関数 既は炎、裸獣伝染動・動 既は炎、裸獣伝染のか中親 がは炎がいる。すど、重数 後値「週間分位いし」本製製社へ御申込みあれる

伸毒と體毒

因にベルツ丸は、内地は勿論、 山玉日 海井古日 蟾花玉日 東南行

るた皮膚病が、飛ど無くなり、自

服用化り候塩、今日

あれ程皮膚に出來て

リーニー きま、ケー 大宝舎に二十日分階和差り下され 〇浦原行 御送付下されしてル 大宝舎に二十日分階和差り下され 〇浦原行

度額ひ上げ格

入り、また目に見えて

に聞かれることと、歌

と、此の脚子にては

邦啓、前略御苑下され腹く懐、 かえれなく、自分でも盤に心細く | 議々 御海壁の 殿、親し 本う | 思けれ候間、此の書面届き次第、

和场际的合注即

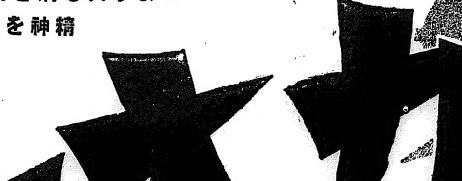
佐野新占

慶 安 丸 城北天日 慶 安 丸 城北天日

調訊

以下 有什.人村。於山田、大黑。縣田

日朝鮮斯品龍出机 合文集實 (2) 群 航 路 (2) 群 航 路 



'Ammuna Maria

進呈數に限りあり 御買求めは即刻!

證 心をこめた慰問袋に是非御 て陣中にて最も必要なる薬品である事を 明されて居ります。 復 劑は病菌 精神を爽快にする効能あるを以つ の口より入るを豫防し疲勞を 加入をお奬 Ø

恢,本

德 何 れにても壹個御 用瓶五十錢 문 方 法

1

上げ毎に販賣店にて 時洩れ ます なく進星 買

L 即

カナール を御服用になけいつも清新な御氣分ではいつも清新な御氣分でこの容器を御使用になれるの容器を御使用になれる。 携帯頗る便利 定個人で存取 ・ (一個) こう一般 ・ (一個) こ

濕 瓶

防 意匠 登錄 既願

安藤井筒堂

部

神宮御祭主に御就任

第王殿下の御後任に発本宮守正王殿下が御飲

作任臨時**神名**奈主 大雕位功四級 守 正 任继ばされることになり、十四日左の如く蔟 合された

### きのふ仰出さる

四日午後『『『苑』『説』と四田(を有するものはら名の上に記年新泰の御歌舎始の歌歌は十一 雑味事五行折でで歌位歌歌は「『鬼京弘徳』 宮中海傾側の明 最近に選出す。形式は遊濤靴 る十二月十日までに宮内省御 精することになってゐる された、欧迪は一人一種、本 戦して氏名には必ず過侵名を

球場では墨生軟式麻麻建手機、の神里、釜山、平壌チームが活躍 技場では午前の領猟球に置いて

ら全選手参加し戦々しい入場が

本が近川が背別京建商業综合は三年 、学から谷氏レフエリー京商先際で 、開始、廿立別等で京西勝つ ・ 京 市 55 (141 10) 0 新港州

運日の湫晴れに牽弾気分はい

### 人の兄は第 店を護る制服少女

# 第一高女の西村英子さん(🖹)

學業と生活に一意專心

別的、天の成績で決勝は許利の同

肚子四日 午後零時五分、 佐藤 **参加米、** 经由一面技事里是代达

理里 勝つ

**養釜山一酯** 

って来ると無服のまとで店に出て一のだ、これぞ銃後一段く大和

々々しくたち働き、彼んなが疑た

の兄にこの妹

兄さんはお國のためですもの

ありませんと健氣な英子さん

とのほど創造した。基域臣一なし、聖観事官が之れを認識して、附近記辞民を特出し工事を行つこ

皇軍戰勝の歌、も毎晩放送

父を知らぬ乙女

隠れて善行をするといふ生徒 辻第一高女校長語る

皇國臣民の誓詞。

ラデオでも齊誦する

**狐づかないところに心を配つ「な生徒で、四ツの肺炎を亡くし、」だことは名撃です。** 1979年の前後の1974年後です。「大生徒で、四ツの肺炎を亡くし、「だことは名撃です」で、そごと善行をするという感心 「嫉から兄弟二人の出徒軍人を送つ

【場所】

十六日午後九時から九時半まで

行、第四回城以後の成職左の如し 心球女子日本式選手權競技は十四 姜孃(同徳)勝つ

けふの神宮競技

本性は美

夢乳

四可窓相な生徒です、出価軍人の母と兄に背てられて來た父を知ら

衛州の魚禁館

魚の流朔行小滑物扱距絶が閉処に解禁が導へられて釜山では鮮

(三越内ピューロー又は本社事業部)へお拂込み下さ

ふ (十五日)午後五時まで申込所

會員證をお渡しいたします。現場では受付けません

會費全額け

晴れの武人、弟の徳市上祭兵は無 **地兵として北浦の討断行に武職を** 

収 のほど真都道の分が揃ひ近く戦績と を概を飛ばして運動中のところことを概を飛ばして運動中のところこ

人夫が献金

九子四十二名で駆まつた直線は五の手機さを取るがその人員は四萬

「新川・蘇川の改修工事を行ふため、満駄の皮織を取めたが、日下述文思商治水工事を動所ではさきに服 可協の工事を完成試験したところ

外の四工區にわけまづ本町、明治

つた、京電本社、鐵路、龍山、端

各村は夜を利用し

でず塹壕を掘れ

蔣介石空一批敵戰術彙錄。

楽し、独め三日間の短期間域を以となし、

平華民國二十六年八月編】【

朝鮮蠶糸會が手續き

で暗鳥の都と化すべく京城電氣で

「語言所秘密者」 それ生贄といふ 中の約八十里に耳る電線との

北支皇軍に贈る

透明氏によって第二放送で全群に

眞綿を獻納

|必定なり、然らざれば||五日乃至七日間以内に | 此要決を行へば勝利は||工事をなし、第一回は | 此更決を行へば勝利は||工事をなし、第一回は 唯一の要道なり、能く | は夜間村落周圍の塹に直面せる抗日穀國の | (内)各縣長に命じ各 (里) 各省政府は東京に建下所属。以内を以てこれを順にし ない。

北鮮を繋ぐ

施養するヤを研究し、転転値を 如何にして離の称画、軍事技術

すこしら貼り形面、原本物像を一葉角は帯に対しては夢るて配き屋、壁に覆地を変換されませて接続を「行し原味地を影画す、呪地の影響・抗日(戦化)(其九))種で語るに逆勢すべし、藍の響を「抗日戦化」(其十) | 友事と連結をとり、はフラミニカ

抗日戰術【其十】左至是雖是とり、四力完整を敢

福德無盡株式會社

晴れ(きのよの最高温度)

柳屋

=

シ t

₹

カンパニー







株計長令息馬場蘭夫殿 本日午 弊計長令息馬場蘭夫殿 本日午









北へ 電話本川二五九〇番 一条収入たし内地 一条日本川・10万人者記者は左 母倫人高時世

京城府安計町一丁目九十一番地京城府安計町一丁目九十一番地

本の上生命を ・ 之 ・ との上生命に ・ との上生命に ・ との上生命に ・ との上生命に ・ との上生命に ・ とのと ・ とのと

類科コムラ病院 AND CONTRACTOR OF THE PARTY OF

大金属機能機会、統革指出機構

質が見る 本書の院

から しき特殊品の関外を す数名英原限な保証人を在する この 京架特所再第三三 今次年前開林人本東州所 内地 八女子段に保養名への異様が限年的九時まで日間頭 医薬剤三久二日間頭 医薬剤三久二日間頭 医薬剤の 日間の は 日間の は

||茶|| 京口寒内

加京

一位。

**郭太德西中** 医糖

『私子姉妹 位に思って あたんだ

自由な呼吸を取り戻すには一言

国목時二三分(束)國民歌謠

一脳岡縣山門郡瀬高町大江―



層民朝禮の時間

日)―非常時經濟の日ー
國民精神機動員部副巡問(第三

サンブル 午後緊時五分 吹打

五日(金)

極所に度する限民の価格

チオドラマ

- 本稿名を奉られてゐる民間軍事談 ■入誌歌でやおて洋雷が見られき、この家の主人は『念録』とい をなしてゐる。 「陸奥」や「長折」を適して手取してゐる長男は、愛國婦人會と 庭のある日曜日の夕飯ど、く吹けないのとユーモラスな對照

すぐ左に粘なら、黒(ろ)で要す

四を百二十八だと、これは本語で で以下自六と、自を苦もたく樂道一般の時間が朝晩り出します。供し 歳で馬百二十五を百二十八だと

い、それで共に避けた二個音楽者 御鎮座で就て

落戯は何處

本月十五日口朝鮮神宮御象座記念 日であり、この翌々十七日は御輿

飛行機楽のやうな一手まで、

覆面道人

小窓駅から始まる

あすのきこもの

ドイツの関旗を表現した勇ましい 舞 精 和泉ケ城。。 のの

「しかし、位くつて云ふのは、聴」友情を思へばとそ、自分一人が感

者になっておっと怺へてゐるので

同六時二五分(大) 英語調座(二) 開大時二五分(大) 英語調座(二) 阿坦和安多 朝鮮神宮神徹底に就て、 一切のでは、 一切の

同六時五五分 (R) カレントトピーノカコ 宍倉 保

同一〇時(城)地方へのニュース

何年と風質とを默つて聞いてゐな

[60]

おとなしい鈴子だつたが、慎ま

北塔が選入つて来た。

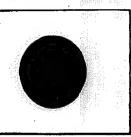
の實践 吉田 茂 に世にもてはやされたが、徳川の 万 (名) 隣演 暦氏の つて武士道証収の舞踊として大い工器博士 内丸及一郎 末期になって能戦、俗歌の路科に世にもてはやされたが、徳川の 睦清輝は吉野朝初期の頃より起り 足利時代より徳川幕府の初期に耳

人の時間10・1110

朝鮮から見た **奥村五百子女史** 

奥村五百子女史は肥前別部に生れ





對しては別配質品を差上ます。
對しては罪を員踏先生連名の賞泉及び野しては罪を員踏先生連名の賞泉及び野しては罪を員踏先生連名の賞泉及び 締切期限は來る十一月二十五日限。

征將士へ送ります。 

指導者各位へ・

、駐間の作品は除り大主かな限式セみた 育業よりも、郷土色のよく肌たものや はたものが却つて受ける方に本言によ ろこばれるのではないでせらか。 多な節の意味で繪具、タレオン等で原 ら数節の意味で繪具、タレオン等で原 ら数節の意味で繪具、タレオン等で原 らないできないできらか。 は密を加へられるのもよろし いかと存じます。但し置や圖楽の巧拙 は密査に加へませる。 上ます。 果校の請先生、家庭の皆様へ念のため申

鉛筆一打づつ

の方に限ります。御應察は小學校、中學校、女學校在學 學級、住所氏名

分配

東京文理科大學教授 医交通部長 圖被選後官 保科孝一先生西條八十先生 井 上 赳先生 小野賢一郎先生 友納友次郎先生

品格通、建作人選の方に左記の 松島慶三先生松月眞二先生

班, 陸山中佐

和歌の四種各十名つつ計四十名作文(破方)・原画、詩・俳句・

年 ス 時 間 ム 投 箱 計 和歌の四顆各二十名づつ計八十名作文(観方)。 敬滿、詩・俳句・ シャアブベンシル 玩具 愛園飛行機 を セ フ ト ハンドパツク

たいと思ひます。美しい通信や作品に依つて出征将士

の方々はどんなに慰められ元氣づけられる事でせり。

どうか奮つて御應募下さい。

皆様から、まごころのこもつた慰問作品を送つて頂き

の一でも現はしたく、全國小學校

中、女學校在學の

の言葉を知らない程であります。その感謝の心の萬分 皇軍將士の忠勇と勞苦とに對しては私ども國民は感謝 績を收めつゝある **亵代產國** 鹼石準標

募。

全支の陸に海に空に、

見事

店